

## 「ひとつの終わりは ひとつのはじまり」 ～ 私の想い ～

### <一年生>

●今日の授業で、夏季大会の写真とか映像を見て、とてもかっこいいなと思いました。今まで以上に部活をがんばろうと思えました。先生の話とか、3年生の話を聞いて感動しました。とくに、先生に怒られるのは、その人を変えようとしている。という言葉がいいなと思いました。これから、引退するときに、悔いがのこらないようにがんばっていきたいです。先輩がつくってくれた部活を、もっとすごいものにできるようにしていきたいです。

●今日の授業で、色々な部活動の人の声やビデオを見て、すごく感動しました。私はバレー部で、先輩方と一緒に近畿大会まで勝ち進むことができて、誇りに思います。今まで色々迷惑をかけたことがたくさんあったけれど、やさしく接してくださったり、教えて下さった先輩方に感謝したいです。また、色々な部活動のキャプテンが言っていたように、みんながいなかったら色々乗り越えることができないと思うし、私たちも悔いが残らないようにがんばっていききたいし、今までお世話になった先輩方に恩返しできるようにがんばっていききたいです。

●それぞれの部活によって、うれしかったり、悲しかったり、いろんな気持ちがあるんだと思いました。同じ部員どうして戦っている人もいて複雑な気持ちがあるんだと思いました。後半の部活のキャプテンがしゃべる時、みんな、くやしそうだったので、僕は悔いがないように部活をがんばりたいと思いました。その後の先生の話で、僕もしっかり頑張ろうと思いました。最後のビデオでは先輩たちががんばっている姿がうつっていて、かっこいいと思いました。僕はこの授業をうけて部活動をさらにがんばりたいと思いました。

●先輩から教わったのは、決して技術面だけではなくて、コミュニケーションをとることや、仲間の協力の大切さなど、本当に色々なことを教えてもらったと改めて感じました。そうやって学んだりしたことは、これから生きていくうえでとても役立つと思います。だから2年先になったときは、下級生にそういうことを教えたり、見本となる行動をとりたいので、1年生からできることを意識していけたらと思います。

●動画を見て、すごい迫力があつたし、一人一人の気持ちがすごかったということが伝わってきました。3年生が言っていた「悔いが残らなかった」というのが、同じ学校の同学年の人と戦って負けたのにそういうことをいえるなんて、すごいと思ったし、自分にも何かの大会にでるときは、悔いののこらないようにしたいと思いました。「コートの中にいない人や応援している人とチーム全員で勝てた」というのがみんなで心を一つにできたというのがすごいなと思いました。

●全部の部活動が夏季大会をがんばっていたので、かっこよかったです。3年生は、もう引退してしまっさびしいけど、半年お世話になって教えてくれたことを生かしていききたいです。2年生は、これからはお世話になるので、迷惑をかけないようにします。夏季大会までの間、先輩たちがとてもがんばっていて、憧れになりました。これからは、先輩を目標としてがんばっていききたいです。

## ＜二年生＞

●どの部活もいろんな思いもあったし見ていて感動しました。3年生がああいう思いだったのは分かっていたようでわからないことがたくさんでした。どの部活もチーム一丸となって力を合わせて戦っていたし、ベンチにも入れなかった人も笑い、悔しがり涙を流したし、とてもステキなチームだったと思いました。サッカー部は1回戦で修学院とあたって負けてしまったけれど、みんなで力を合わせて頑張ってきたので悔いはないです。次は僕たちが勝って笑いたいと思いました。3年生の思いものせて新人戦を優勝したいと思いました。

●先輩が大会で試合しているところを1回も見ることがなく、どんな気持ちでやっているのか全然知りませんでした。ムービーを見て普段部活している顔と全く違い、迫力もあってすごく感動しました。私たち2年は新人戦が初の大会なので悔しい気持ちとか全然知らんし、大会を甘く見ているかもしれへんけど、そのままでは後悔でしかない試合になってしまうから、今まで教えてもらったこと、応援してくれているみんなを頭に入れて、諦めずに後悔ないプレーにします。

●今まで先輩方とソフトボールをやってきて楽しい思い出も、辛く悲しい思い出も振り返ってみるとたくさんありました。でも、それらはこれからもソフトをやっていく上で大切な思い出です。3年生は引退されて新チームが始まり、大事な大会もたくさん控えているけど、「全国制覇」という目標を今度こそ、自分たちのチームで成し遂げられるようにしたいです。スポーツやその他のことをやっていく上で「勝ち」「負け」や親やチームメイトへの感謝などたくさんあるし、その気持ちを忘れず、これからも頑張りたいです。

●今日の授業で思ったことは、本当に部活のメンバーは大事な存在だということです。普段の練習でぶつかることもたくさんあるし、嫌と思う時もたくさんあるけど、部活がしんどくなった時、助けてくれるのはやっぱり周りのみんなです。試合もみんながいないとできないし、勝てないから改めて大事だとおもいました。そして、このメンバーでこれだけ良い練習が出来ているのは本当に恵まれていると分かりました。なので、今後の練習1つ1つ、1分1秒を大切に家族、部活のメンバー、先生に感謝して取り組んでいきます。

●やっぱり仲間がいたからこそここまでこれたんだと思った。今のチームのメンバーに感謝していきたい。試合とか前まで後悔するような試合ばかりだったし、1人でも勝ちたいって思ったら、その気持ちはつながっていくから、その気持ちを大事にしていきたい。これからは2年生が引っ張っていかないといけないから、3年生に教えてもらったことを生かしてつなげていきたい。本当に、3年生、先生、保護者、チームのメンバーに感謝したい。プレーで恩返ししたい。

●チームの雰囲気が良いと自然に声が出て、チーム全体が明るくなるし、いいプレーができるから雰囲気は大切だなと思った。自分の水泳のレースでも、同じチームの人と闘うことはある。初めは不安だったけど、だんだん勝っても負けても全力を尽くそう、と思えるようになりました。個人でも団体でもチームメイトがいるっていうのはすごく心強いし、大切にしていきたいです。

●『1つのおわりは1つのはじまり』と最後に出てきたとき、すごく共感しました。今までこういう授業はなかったけど、部活の試合での先輩たちの熱い気持ちが伝わってきて、バドミントン部の先輩の映像が流れたとき、こんなにも頑張っている姿を見て、自分たちも追いつくというよりは追い越すくらいの勢いで努力したいなと思いました。秋には新人戦があるから、結果を残せるように仲間と練習したいなと思いました。

## ＜三年生＞

●自分はメンバーに入れなくてとても悔しくて、もう高校ではやりたくない、って気持ちになったけど、全校道徳して、自分がコートでプレイする立場になりたいっていう気持ちになれたから、高校にいてもバレーを続けたいと思いました。この道徳をして気持ちが変わったので、とてもよい時間でした。ほかの部活動も自分と同じで最後まであきらめずに試合をしていたので、みんな思っていることは同じなんだと改めて感じました。

●夏の大会のこととか色々思い出して、結果はすごく悔しかったけど何か達成感があったなと思いました。今日の授業で今までがんばってきたこととか、それを支えてくれた人に感謝を伝えないといけないと思ったし、これから1，2年生には私たちができなかったこととか悔しかったこととかを達成してほしいなと思います。

●自分たちの部活のチームだけが頑張っていたのではなく、それぞれの部活が、全力を出し切って、結果がどうだったにしろ頑張ってきた3年間のストーリーがあって、とても熱があって、美しさがあって感動しました。何気なく普段過ごしてきた3年間だけど、悔しいこともうれしいことも色々なことがたくさんあって本当に貴重で良い経験をつめたのだなと感じた。一緒に戦ってきた仲間やそれを支えてくれた先生や保護者の人たちに感謝したいです。

●中学では勉強だけを学びにきているわけではないと改めて感じました。知らず知らずの間に人々から感動をもらい、感動を与えていた事に、今気づいた様でした。僕も1年から練習を続け、苦しい想いもありました。途中、「本当に辞めようかな」なんて思ったこともありました。ただ、仲間と過ごした最後の試合、最後の時間ですべて報われたと感じた。反面驚きも感じました。3年間の苦しみ全て貴重であったと思えたのです。後輩にはもちろん頑張ってもらいたいという想いもありますが、「今、苦しい練習や、正直面倒臭いなって思うかもしれないけど、最後になって分かるから、それも楽しみにして頑張れ」という事を、一番伝えたいです。

●全校道徳を終えて、私の部活のキャプテンがしゃべっていたのを聞いて、「楽しかった」という言葉にすごく共感しました。他にも「仲間への感謝」や「応援の大切」にも同じように共感することができました。私は、部活であまり良い成績をとったりできなかったのですが、自分が1，2年の時にあまり先輩と関わらなかった分、自分が先輩になった時に後輩と仲良くなって、相談を受けたり頼られるのがすごく嬉しかったです。私たちの代はすごく人数が少なく、もし今の2年や1年が入ってきてくれなければ、ここまで頑張ることはできなかったと思います。色々な面で後輩に助けてもらったため、感謝を伝えたいと思いました。部活にもまた遊びにいきたいです。

●自分は話をしていて思ったことは、みんな話を聞いてくれて、とても話しやすかったことです。他のキャプテンの話を聞いて、頑張ってきたんだと感じました。映像を見たときにいろいろな部活のシーンが流れてきて、感動しました。あんな映像をみるとは知らなかったもので、突然でびっくりしました。勝って泣いているシーンや、負けて悔しさで泣いているシーンを見て、グッときました。自分たちのシーンもうつっていたので良かったし、そのときの気持ちがよみがえったような気になりました。部活をやっていてよかったし、つらい時もあったけど、本当に柔道を続けていてよかったです。映像を作ってくれた人に感謝したいです。ありがとうございました。顧問の先生にも今まで以上に感謝をしたいと思います。

●夏の最後の引退試合のみんなの姿がすごくかっこよく、心に残りました。でもやっぱり満足していないところなどがあり、もっと試合をしたい、あの時にこうしていれば、などありますが、やっぱり一番よかったのが仲間との思い出だと思います。その思い出を忘れず、高校へ行っても、大人になっても仲間という存在を忘れずに生きていきたいと思います。

●今日改めて部活での思い出を振り返って「負ける」という結果より、それまでの過程が大切だと思った。私の夏季大会の結果はあまり満足していないけど、仲間と一緒にきつい練習を乗り越えてきたり、一緒にプレーできた時間が本当に心に残っている。スポーツは勝敗があるし、たくさんしんどいことや大変なことがあるけど、それは全て自分自身を強くさせる試練だったと思う。部活を通して人間性を育てることができた。共に戦った仲間や教えてくださった顧問の先生、応援して下さったいろいろな方、親に感謝したい。そしていつか恩返しできるようにしたい。最後に全校道徳の時間を作ってく下さった先生方に感謝したいです。

●私は夏季大会で応援ポスターを作って、応援することしかできなかったけど、それが少しでもみんなを元気づけることができていたらうれしい。ビデオを見ていると、3年間どれだけ練習をがんばってきたのかが伝わってきてすごいなと思った。結果が良くても悪くても、今まで努力していきたくが無駄になることは絶対になんかと思った。美術には大会がないけど、コンクールなどがあって入賞したりすると、すごくうれしい気持ちになるし、上達しているのかなと感じることがある。このように感じるのは、私たちが部活を続けてきた結果なのかなと思った。

●すごく感動しました。何か1つの目標に向かって努力したり、1つになったりしていた姿を見て、かっこいいと思いました。悔いのないようにするためには、全力で何事にも取り組むことで、結果はどうであれ、悔いが残らないと言っていたので、これからそれをしっかりやっていこうと思いました。自分にはまだ残り時間があるということが。今日改めてわかったので、これからは時間をもっと大切にしていこうと思います。

●他の部活のがんばっていた姿を見てとても感動したし、自分も部活をしてきて支えられてきたから、支えてきてもらった人たちに感謝していきたいなと思いました。これから夏季大会のラグビー部にはがんばってほしいと思うし、見に行けるかわからないけど応援しに行きたいです。1, 2年生は新人戦がもう始まっているので、いい結果を残せるように、全力で頑張って、いいチームを作ってほしいと思いました。

●私にとって最後の大会はあっという間に終わってしまっていて悔しかった。けど、いろんな人に応援してもらって全力でプレーが出来たから悔いは残ってない。この3年間部活動頑張ってきて良かったなって今日改めて思った。この気持ちを忘れずに高校でも頑張りたい。あと、あの仲間がよかった。

●普段接しているメンバーの部活動の姿というのは見たことがなくて、一生懸命にやる姿はシンプルにかっこいいと思った。私はスポーツができないけど、音楽を通して仲間を意識できた。まだ引退はもう少し先だけれど、「引退したからこそ感じたこと」をしっかり聞けたので、今を大切にしていこうという気持ちではないということ、後輩たちや顧問の先生の助けなしには今の自分がないこと、伝えられることはこの間にしっかりとやりきっていかなければならないという必要性を感じた、